



BEAM (ビーム)

れいわ ねん がつ
令和6(2024)年10月

「BEAM」というタイトルの由来について

みなさん知っていますか？
愛センター通信がなぜ「BEAM」なのか。
それは、「BE the Advocacy Movement
(人権のまちづくり!)」の願いを込めた造語
の頭文字です。また、地域と人と愛センター
をつなぐ「光線」という意味もあります。さら
に「ほほえみ」という意味もあるんですよ。
みなさんに「ほほえみ」
を広げたいと思います。

【9/28】延期の「座談会」で体験語る

忘れてはならない戦争の記憶、地域の方々
はどう生き抜いてきたのか…

4人の高齢者の方々に当時の生活や次代に



伝えたいことをお
話いただきました。
語り継いでいく大
切さを共有しました。

平和の大切さを実感

9月の交流サロン

ギターとオカリナ演奏



で楽しめました。次回は
10/7(月)11時~です。



あいセン
の花たち

上のひまわりは利用者
さんの寄付、右のアレン
ジメントは愛センターのス
タッフが別館に咲いてい
る花を使ってつくりました。



毎週水曜日

時々「缶バッチ」や「スライム」づくりなどやりたいことに挑戦しています。

子ども居場所づくりの一環として、水曜の午後3時半〜5時「あいカレッジ」として集まっています。

「あいカレッジ」でチャレンジ

「缶バッチ」・「スライム」できた!

9/21 (土)



能登の震災被害を伝える写真展示
三島中学校 ゆめ・笑顔・愛フェスタでは「防災」をテーマに子ども達もアイディアを出し合い、様々なブースが来店されました。愛センターからも能登半島地震での被害の状況を伝える展示や義援金の募金コーナーを設け、5,396円の募金のご協力をいただきました。

能登の震災被害を伝える写真展示

9/12 (木)

館内の誰もが使いやすい機能を発見

したり、昔の校区のことを高齢者の方に教えてもらいました。



三島地区では、地域や施設等での取組が多くあります。その一つひとつが、人とひととの出合いやつながりを大切にされています。
東保健福祉センターの「ウィンターフェスティバル(12月15日)」、「みしまちの玉手箱(3月2日)」と次のイベントの準備も進んでいます。
出合いやつながりの場づくりです。

ゆめ YOU & ME だより